

## 今年度の流行語大賞は・・・

令和7年度が終わります。教師という仕事をしていて、生徒の成長の様子を話題にすることほどうれしいことはありません。「あの子は大人になったね」「こんな気配りもできるようになった」と、年度末の今、教務室では、あなたたちの1年間の成長の様子が盛んに話し合われています。



さて、小針中は、教育目標「創造し 協調する たくましい生徒」を「おもしろくて やさしくて つよい生徒」・・・それぞれの頭文字をとって「お・や・つ」な人と解釈しています。今年度は、学級掲示をリニューアルしました。己書という書体です。私は、あの書体が気に入っています。あの文字を見ていると、教育目標が「おもしろく やさしく つよい生徒」に見えてきます。「お・や・つ」は、小針中の目標であり、行動指針であり、何より、人生を楽しむために必要な人格です。先生たちも、「お・や・つな人ってどんな人？」ということ話を合っています。皆さんも、学級目標などをつくる際に、「お・や・つな人になるためにはどうすればいいか？」について話し合ったと聞いています。おかげで、小針中では、今年度、なにかと、だれかの口から「お・や・つ」という言葉が出るようになりました。そんな「お・や・つ」という言葉の意味を、みんなそれぞれが感じたり考えたりするためにも、壁に貼ってあった方がいいのかもしれませんが。そして、「おまじない」のように、何度も繰り返し唱えることは、絶対に効き目があるし、心に染み込むと思います。今後も、「お・や・つ」を言い続けていきましょう。

というわけで、今年度の小針中の流行語大賞は「お・や・つ」に決定です。

次に、3年生への感謝を伝えさせてください。私は、「3年生が手本になれる学校はいい学校」だといつも思っています。

3年生の皆さんは、学校行事、生徒会活動、地域連携、部活動において、常に在校生の一步先を歩き、「いいかよく見ておくんだぞ」と、先輩としてのあべき姿を示してくれました。心から感謝します。後輩たちは、皆さんの精神を引き継ぎ、次年度、校内外で新たな活動を展開してくれると信じています。

小針中には、だめなことをだめだと言ってくれたり、あなたたちのがんばりをちゃんと見て褒めてくれたりする先生方が揃っています。これからも、安心して「お・や・つ」な人を目指して挑戦を続けてください。1年間、お疲れさまでした。